

## JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業の採択案件決定

### 九州から3件が採択

－ 福岡県2件、長崎県1件－

この度、国際協力機構（JICA）では、中小企業・SDGs ビジネス支援事業（2022年度募集）の案件審査を終了し、採択案件を公表しました。全国で59件、九州からは福岡県2件、長崎県1件が採択されました。

本事業は、日本の中小企業の製品・技術の途上国での活用可能性の調査・実証を通し、企業の海外展開と途上国の開発促進を目指すものです。2012年度に開始して以降、今回の採択を含め九州地域で延べ92企業（案件）に活用いただいています。

- 大石建設株式会社は、日本の新技術「サブマリンクリーナー工法」を活用し、チリの水産主要産業であるサーモン養殖で発生する餌の残渣及び糞による底質を、二次拡散させずに効率よく除去する事で周辺海域の環境改善と除去物の有効活用を目指します。
- 株式会社アグリツリーは、ソーラーシェアリング導入によってベトナムの農水産業の脱炭素を実現するとともに農水産業に携わる方々の所得向上、ひいてはソーラーシェアリングのビジネス展開による、ベトナム国等を始めとした東南アジア諸国の農水産業の脱炭素化への貢献を目指します。
- 株式会社九州メディカルは、気象予測による蚊媒介感染症流行予測及び微生物殺虫剤 MOSNON のビジネス展開を図り、パラグアイ国の化学殺虫剤抵抗性蚊の出現の抑制によるデング熱を含む蚊が媒介する感染症患者の減少への貢献を目指します。

各採択案件それぞれ海外での事業に対する熱い思い、人間ドラマがあります。是非お気軽にご照会下さい。JICA九州から企業様に繋がせて頂きます。

#### 2022年度募集 採択結果

所在地	事業区分	提案企業 (地域金融機関*)	案件名
長崎県	ビジネス化 実証事業	大石建設株式会社	チリ国持続可能な水産業の振興及び養殖に資する循環型ビジネスにかかるビジネス化実証事業
福岡県	ビジネス化 実証事業	株式会社アグリツリー	ベトナム国ソーラーシェアリング導入による農水産業の脱炭素実現に向けたビジネス化実証事業
福岡県	普及・実証・ ビジネス化 事業（中小 企業支援 型）	株式会社九州メディカル (株式会社福岡銀行)	パラグアイ国安全で環境に優しい微生物製剤による蚊媒介感染症予防にかかる普及・実証・ビジネス化事業

地域金融機関\*：地域金融機関連携案件。提案人と地域金融機関が連携して海外展開を検討・調査するもの。

【関連リンク】

民間連携事業の支援メニュー 一覧 [https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

中小企業・SDGs ビジネス支援事業（2022年度募集）全採択案件 [https://www.jica.go.jp/press/2022/20230220\\_41.html](https://www.jica.go.jp/press/2022/20230220_41.html)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 企業連携課（担当：馬道（うまみち））

TEL:093-671-6311 E-mail : [kictps1@jica.go.jp](mailto:kictps1@jica.go.jp)

JICA 九州ウェブサイト : <https://www.jica.go.jp/kyushu/>